

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻 第 7 号

第 7 週 (2月9日 ~ 2月15日)

発行年月日:平成21年(2009年) 2月19日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

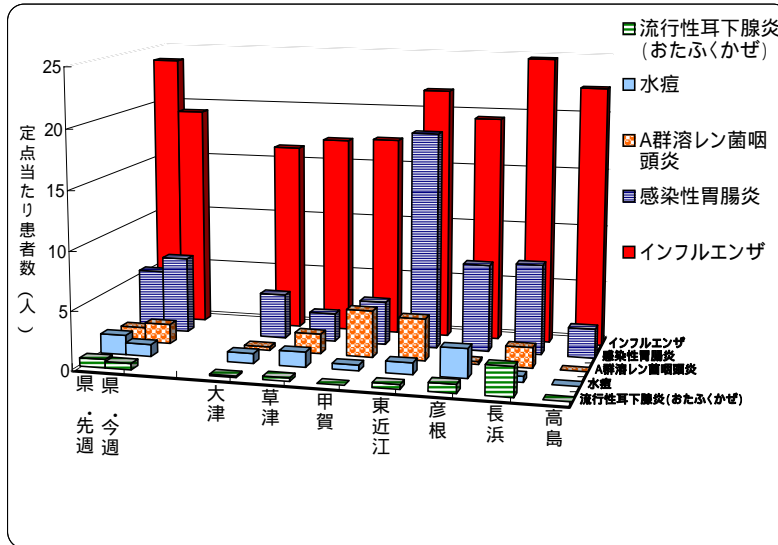
インフルエンザの警報発令中

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりさらに少なくなっています。インフルエンザでは減少傾向を示していますが、第3週以降、引き続き県内全域にインフルエンザ警報が発令されています。今週増加した疾患はRSウイルス感染症、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎等で、減少した疾患はインフルエンザ、水痘および流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報および注意報の発生状況については、インフルエンザおよびA群溶レン菌咽頭炎で警報発生基準値を超えている保健所管内があります(詳細については、今週の発生状況:滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で6名の届出がありました。

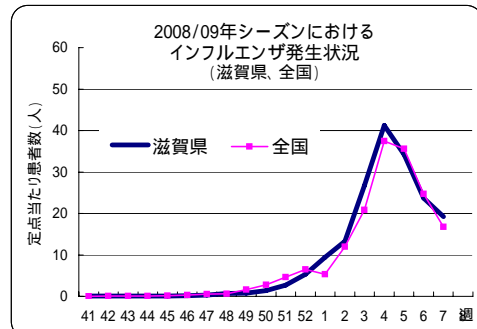
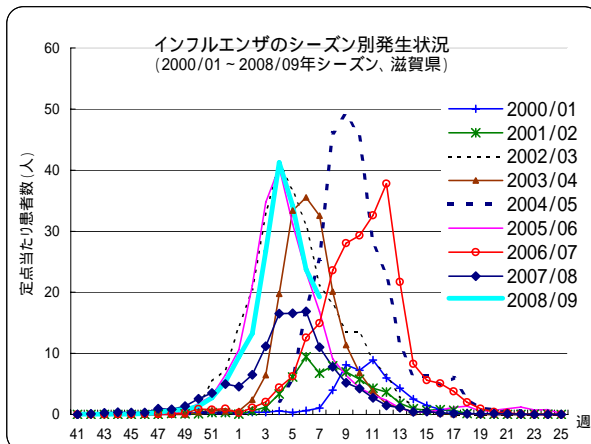
上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第7週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の順に多くなっています。

インフルエンザは甲賀および長浜では先週より微増となっていますが、他の保健所管内では先週より減少しています。感染性胃腸炎は東近江および彦根で急増しています。

インフルエンザの発生状況



今シーズンの現時点における発生状況は、全国とほぼ同様です。また、滋賀県における過去の発生状況と比較すると、2002/03年シーズンおよび2005/06年シーズンと同様の流行状況となっています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (7週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (7週)	全国 (7週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	6	30	2,536	282	27,737
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	15	^(*) 3	318
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	67	53	4,307
	A型肝炎	0	0	8	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	1	1	2
	デング熱	0	0	12	2	104
	マラリア	0	0	8	1	57
	レジオネラ症	0	0	87	10	884
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	109	10	861
	ウイルス性肝炎	0	1	25	5	236
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	14	2	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	14	1	11
	後天性免疫不全症候群	0	0	148	11	1,532
	ジアルジア症	0	0	5	1	75
	梅毒	0	0	82	5	823
	破傷風	0	0	6	5	120
	急性脳炎	0	0	39	1	182
	風しん ^(*)	0	0	16	2	303
	麻疹 ^(*)	0	0	106	39	11,005

* 1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第7週(2/9～2/15) -

一類感染症: 報告なし		四類感染症: マラリア	1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	11例
二類感染症: 結核	256例	つつが虫病	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
三類感染症: 腸管出血性		レジオネラ症	6例	ウイルス性肝炎	4例
大腸菌感染症	6例	五類感染症: アメーバ赤痢	14例	急性脳炎	1例
コレラ	1例	梅毒	7例	麻疹	10例
細菌性赤痢	1例	ジアルジア症	1例		

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第2～7週、1/5～2/15)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	2週	3週	4週	5週	6週	7週	週
	(1/5～)	(1/12～)	(1/19～)	(1/26～)	(2/2～)	(2/9～)	3 4 5 6 7
インフルエンザ	13.28	26.72	41.22	34.19	23.80	19.22	
RSウイルス感染症	0.55	0.45	0.52	0.15	0.18	0.24	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.03	0.06	0.21	0.27	0	0.12	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.52	1.00	1.58	1.70	1.27	1.70	
感染性胃腸炎	9.36	7.09	6.97	8.09	5.33	6.61	
水痘	3.76	1.48	2.39	1.18	1.67	1.03	
手足口病	0.15	0.06	0.15	0.15	0	0.03	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0.03	0.03	0.06	0.06	
突発性発しん	0.55	0.39	0.36	0.33	0.27	0.39	
百日咳	0.06	0	0	0.06	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0.03	0	0.03	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.85	0.79	0.52	0.88	0.73	0.55	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0.25	0	
流行性角結膜炎	0.13	0	0	0.25	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.57	0.43	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	

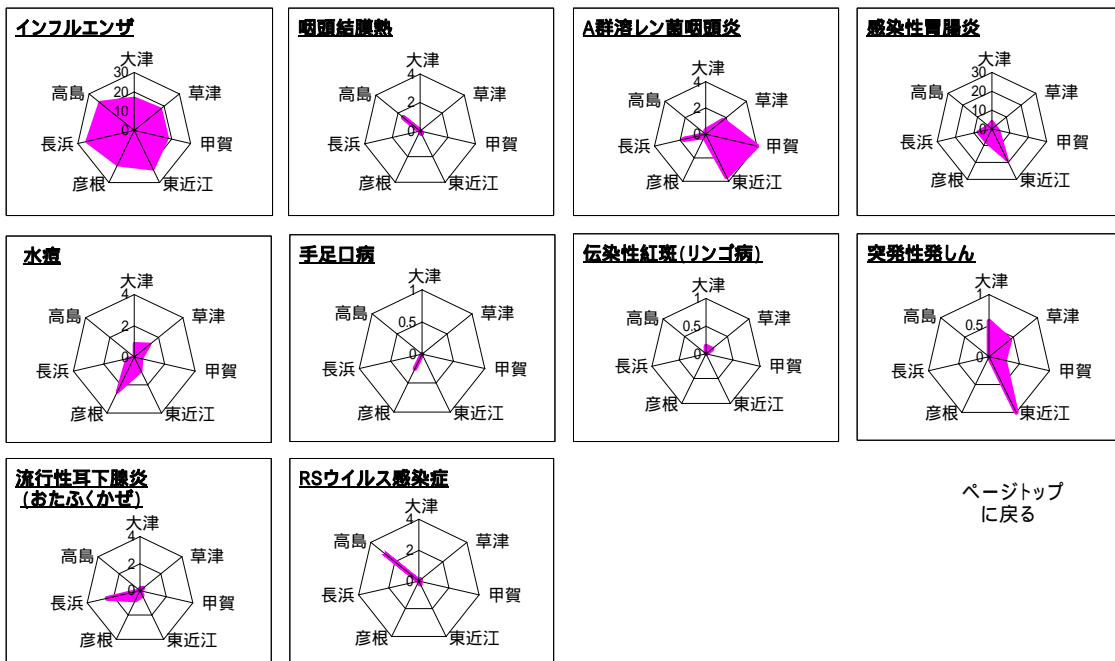
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第7週、2/9～2/15)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)			
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島				
インフルエンザ	19.22	16.27	17.09	17.29	21.75	19.43	24.71	22.33				
RSウイルス感染症	0.24	0	0.14	0	0.20	0	0	3.00				
咽頭結膜熱(プール熱)	0.12	0	0	0	0.20	0	0	1.50				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.70	0.29	1.71	4.00	3.60	0.25	1.75	0				
感染性胃腸炎	6.61	3.86	2.43	3.75	18.60	7.50	7.75	2.50				
水痘	1.03	0.86	1.29	0.50	1.00	2.50	0.50	0				
手足口病	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0				
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.14	0.14	0	0	0	0	0				
突発性発しん	0.39	0.57	0.43	0.25	1.00	0	0	0				
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0				
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0				
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.55	0.14	0.29	0	0.40	0.75	2.50	0				
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

0 5 10 15 20
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



3)今週の発生状況

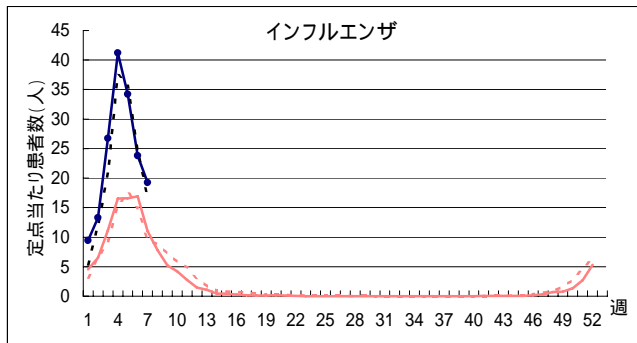
- インフルエンザ-----すべての保健所管内で警報終息基準値(10.00)以上となっており、県内全域に、警報の発令中です。
- A群溶レン菌咽頭炎----甲賀および東近江では先週に引き続き警報終息基準値(2.00)を超えています。また、草津および長浜では先週より急増しています。
- 水痘-----県全体では先週よりかなり減少していますが、彦根では先週と同様、多い状態が続いています。
- 流行性耳下腺炎-----県全体では先週より減少していますが、長浜では先週と同様、多い状態が続いています。

滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況(平成21年第7週)

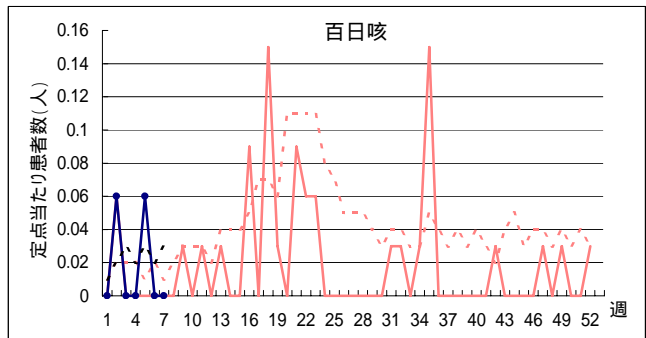
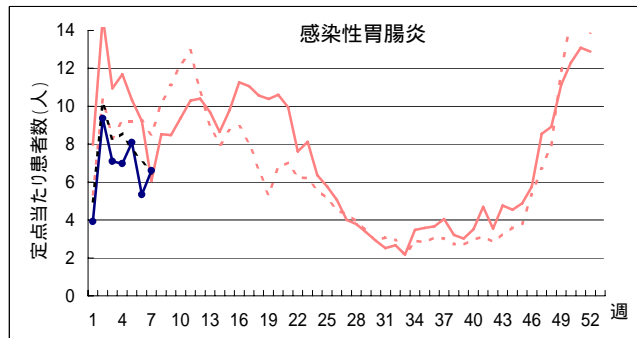
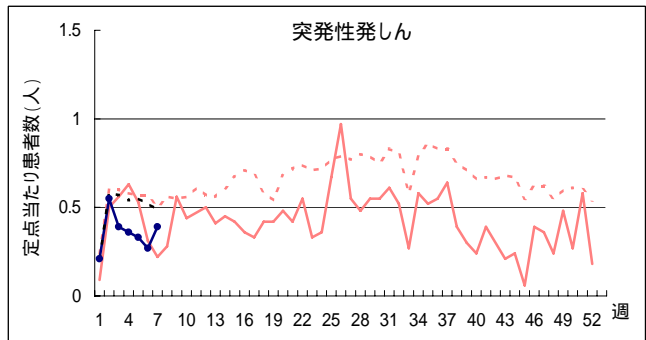
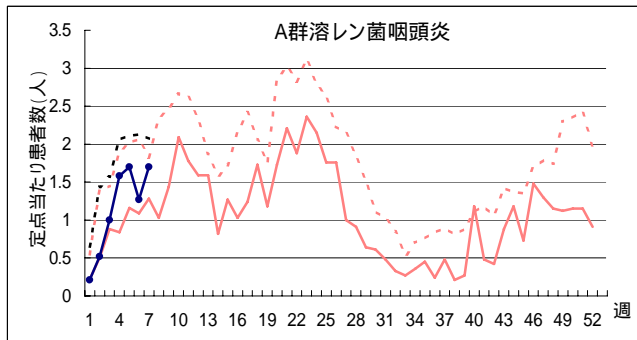
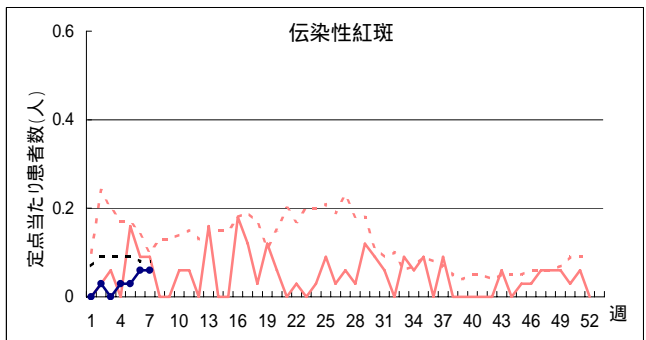
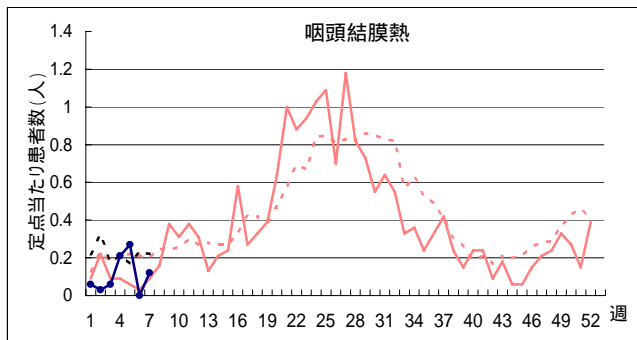
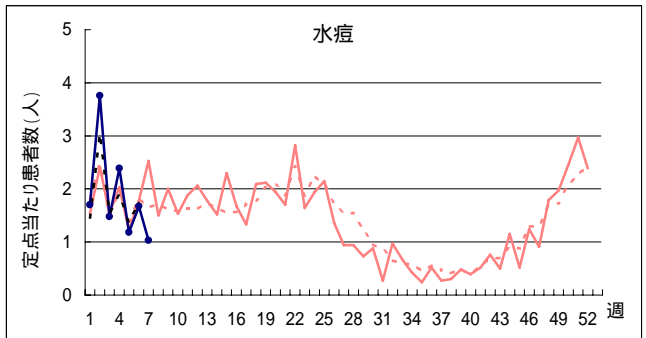
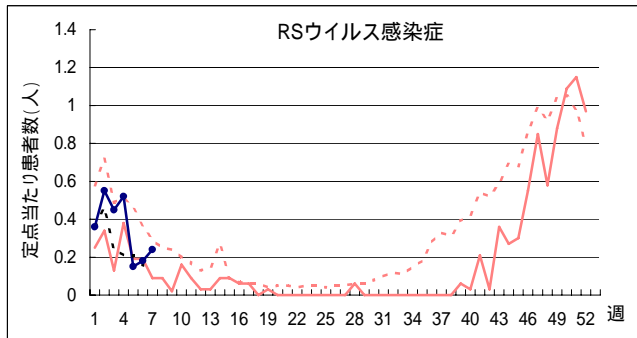
疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値
		大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
インフルエンザ		★	★	★	★	★	★	★			
定点当たり患者数(人)	19.22	16.27	17.09	17.29	21.75	19.43	24.71	22.33	30.00	10.00	10.00
A群溶レン菌咽頭炎				★	★						
定点当たり患者数(人)	1.70	0.29	1.71	4.00	3.60	0.25	1.75	0	4.00	2.00	-

★ 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。 ★ 注意報発生基準値を超えています。
 * 基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。 また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。

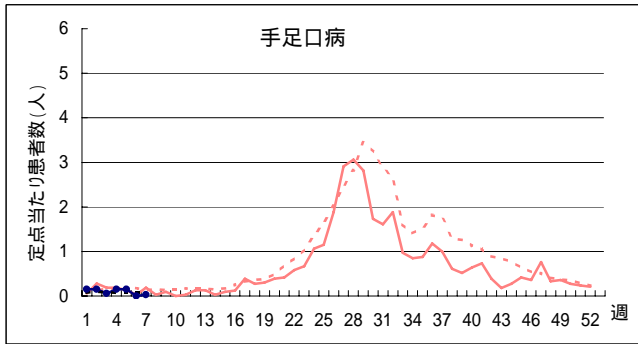
疾病別定点当たり患者数(平成21年第7週、H19.12.29~H21.2.15)



H20 { 滋賀 (実線)
 全国 (点線)
 H21 { 滋賀 (実線)
 全国 (点線)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第7週、H19.12.29~H21.2.15)



H20
 { 滋賀 ————
 全国 ······
 H21
 { 滋賀 —●—
 全国 ······

